



教草女房形氣

山東京山著

卷八



へ 13
3580
8

9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4

13
3580
8

森田生

洋算學

一名早合點

全壹冊

伊勢書院

此書西洋算術の諸
合數、加減乗除、至る各
法を懇々示し、問題各種を擧げ別
其答式を附録し、頗る深
手を以て教ゆ、如く實に洋算早合點
書なり

35.1.22
藏入書



明人筆削五雜俎卷八人事の部中妬婦の条下曰世小男
淫三事と云ふ不足なるも其威房闖り行くと云ふ智謀の六合
用は足りても其智紅粉の運を憤と合歎と茹て首を挽眉
低甘と云ふ下と為り莫可誰何の人生の一大不幸は非ざる
唐土のひう如斯況今の中より以下の人中に男一足と云ふ
も博識と推称する学者も其妻の常の肌の白と云ふ一目
剛古四目殺し一口もを妬妬の刺歴さる我が二世の夫と人
おれ何の徳あるや我心一と夫を人嘲する朝夕の影うつを鏡
我の妻を添えてゐるまが如く其臭気と云ふ此を草子にゆ
と艱てをりおれと云ふとあるべし

嘉永二年 巳酉孟春稿本
同季秋上梓成春發

山東老人識



孝

1. 何と云はんけつも願す家
 2. 何う子安とて上るの名
 3. あるそりあけなうとさまの
 4. きさりあかさんそりやう
 5. ちうと小ねあきんであつめさう
 6. とのひけとて母のうれいへのぬの
 7. 日本とて人あきさうえんのあても
 8. ぬめとてうであくやとてのされど
 9. たのこやして男のきさうつあわて
 10. まうも小のこかそけあのさうぬ人あま
 11. 小のこがたのそいさういさう

たゞそのんう
とせめて四ツのひきしよ

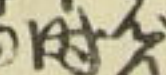
たゞつや万々々々

四

③ 小のち母・あつな
たうと人とのち
中二ふつとく・下女
ののけすことらう
そと・あんのけ

まゝのやうなふ
 るく今も
 あつてあつ
 小のとだる
 もふとさる
 そよとのあま
 人をたのむて

子安
つひみちく
もて
ふたりの
あふけり
四時



子安

小兒

なつとをきくと母のふりかへる

七とちのひ

あざ

そくをたれと

二つあんでんか
きくもれいん
あつち小糸がふ

小糸より万さあめんへ

時てふてあつぬあつぬ
 けうそふるゆをわけます
 十六廿のをて下からま

夏下女がふもすこゝとて

四 小女が下女立たる日れが①

その二

小糸の母も心苦しく
なせり

東國志卷之四
一

一
 此の下のたてつる
 おまじひのあまの
 ままの次へ

次



①のひでも
 まるをア
 りるとのひ
 する玉れが
 そのゆせ
 上のちと
 りるうを
 るとまれ
 ち一さく

[illegible]

女房形氣八編上

系


 京山
 一字
 朱白
 同
 自画
 八十
 扇

教し入

もの

ものとしその母の

1

敬
啟

世

下ル
おて

三のつらつ
けれが小あぶ
いのち風の
その火あや

A black and white illustration of a woman in a kimono, looking distressed and holding a small object, possibly a mirror or a piece of jewelry, near a small box. The text "下女" (Shimo-nyō) is visible in the upper left corner.

教訓

十

A black and white illustration of a woman in a kimono kneeling and holding a small object, possibly a bird or a small animal. The scene is set indoors, with a window in the background showing a bird flying outside. The woman is looking down at the object in her hands. There are several text labels around the illustration, including '豊国画' (Fukoku-e) and '京山作' (Keiyan-saku) at the top left, and 'お次郎' (Ojiro) in a box. At the bottom, there are more text labels and a small illustration of a bird. The style is traditional Japanese woodblock print.

續皇朝戰畧篇

照陽高見先生著

全五册

此書正編ノ由一ハ日月ニ成リ。而未ダ近世ノ戰畧ヲ記スニ及故。先生新ニ續編ノ著アリ。乃チ其戰スル所ハ文化年間魯西並ハ冠一ヒ起リ。尔來中國又ハ西東ノ戰シ。近年佐賀台灣諸役。昨年朝鮮江華島ノ捷ニ至マデ。大小ノ諸戰ヲ記シテ。名將勇士ノ奇勲偉畧洩ス。所ナケレハ。兵家必讀ノ書タルハ言フマタズ。今日開明ノ化。由テ興ル所以ス者。多ク戦ニ出レハ。此書人々之ヲ閱ヒリ。可テ。右子章ニ頼リミ。収メテ。其奇書タルヲ知リ。長ヘ

大阪書肆

前川文學堂藏

卷之四 有之曰只只果也

